

文題 離岸堤を見学して

氏名	二年 四組 三番
井田 達也	

下新川海岸吉原副離岸堤工事現場見学をして、初めて聞くことが多く、多くのことを学ぶことができました。今自分たちが住んでいる黒部川扇状地には、明治以降洪水被害をもたらした主な災害の数は十件以上あります。中でも昭和四十五年二月三日に発生した災害は多くの建物を破壊しました。その度に離岸堤が見直されてきていました。そして、今の離岸堤があることを知りました。離岸堤は本体トロッコのトトラボットだけではなく、四つの部分から構成されていることか知りました。もっと詳しく知りたいと思います、資料を読んでみたいけれども、理解するのは困難でした。しかし、離岸堤のおかげで、海の沖合から押し寄せる波を小さくしてエネルギーを弱め、越波・浸水・侵食を防止して、自分たちの住んでいる場所を守ってくれていることが分かりました。実際にトトラボットの据え付け作業を見学することかできました。据え付けの仕方でも種類があり、適当に据え付けする方を見るこかできました。操縦士と補助の人と確認しながら慎重に作業しておられました。とても大きな機械での作業だったので迫力を感じました。作業工程の一から四の四を見たけれども、一から三の作業では潜水士も作業を行い、大規模工事だということか分かりました。見学を通して、私は公務員志望なので、実際に作業する側になると思いますか、土木工事の一つとして、見学することかできたのでよかったです。土木工事は、住民の安全を守る大事な仕事だと思いました。